

市立小学校における卒業生台帳の誤廃棄について

横浜市立恩田小学校において、平成27年度以前の卒業生台帳の所在が不明であることが判明しました。学校は、継続して経緯の確認と現物の検索を行っていますが、令和2年7月30日現在、平成27年度以前の卒業生台帳は見つかっていません。

平成28年度末の文書廃棄時に、誤って廃棄したものと考えられます。

1 誤廃棄した卒業生台帳

昭和62年（1987年）度から平成27年（2015年）度までに横浜市立恩田小学校を卒業した児童の台帳 3,043人分

※卒業生台帳

卒業した児童の氏名、生年月日、当時の住所、保護者氏名、卒業年月日、卒業証書番号が記載された簿冊。卒業した児童が確認できる書類で、卒業証明書の発行等に用います。

なお、7月30日現在、個人情報流出等の被害報告はありません。

2 学校の概要

学校名 横浜市立恩田小学校 校長 古屋 澄人
児童数：470名 教職員数：25名（令和2年7月30日時点）
所在地 横浜市青葉区桂台二丁目36

3 経過

令和2年6月下旬

校長は卒業生台帳の記載について副校長と情報を共有するため、副校長に卒業生台帳を確認するよう指示をしました。

7月2日（木）

副校長が常時施錠している書庫を確認したところ、平成28年度以降の卒業生台帳しか保管されていないことが判明しました。

7月3日（金）～

全教職員で、継続して経緯の確認と現物の検索を行っていますが、平成27年度以前の卒業生台帳は見つかっていません。

経緯を確認している中で、平成28年度の文書廃棄の際、廃棄予定の文書として仕分けられていた文書の中に、卒業生台帳と思われる表紙を見かけたとの発言があったため、誤廃棄したものと考えられます。

4 誤廃棄となった主な原因

- (1) 文書の保存年限に関する正しい理解と周知が足りていませんでした。
- (2) 文書廃棄の正しい手順について、理解と周知が足りていませんでした。

5 今後の対応について

- (1) 証明書等の発行に対応できるよう、学籍に関する記録等を用いて「卒業生記録一覧」を作成します。
- (2) 再発防止に向けて、毎年度の文書廃棄等の実施前に、校内全教職員で文書保存に関する研修を行い、現存している平成28年度以降の卒業生台帳も含め、適正な文書管理を徹底します。

お問合せ先

教育委員会事務局北部学校教育事務所 指導主事室長 梅澤 薫 Tel 045-944-5978